

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 開田高原ヘルスツーリズム推進事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 木曾町 木曾町開田支所 電話0264-42-3331 |
| 事業区分 | 産業振興、雇用拡大に関する事業 オ. その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト事業 |
| 総事業費 | 1,050,038円 (うち支援金: 822,000円) |

事業内容

木曾町が観光交流人口増加・社会保障費減少のために進めるヘルシータウン構想を実現するため、開田高原をモデル地区として健康づくりに特化したプログラムを実施した。特有の地域資源である木曾馬を活用した「木曾馬と歩く健康ウォーキング」や「高原サイクリング」の実施、ウォーキング・サイクリングコース整備など参加者受入れ体制づくりを図った。



【木曾馬と歩く健康ウォーキングの様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 昨年度まで実施した事業内容にバリエーションを加え、提供メニュー数を増やすことができた。
- ② 参加状況から、健康志向の強いターゲット向けのメニュー作成が有効であることがわかった。
- ③ プログラム実施にあたっての町内宿泊業者との連携を図ることができた。
- ④ 事業実施主体である木曾おんたけ健康ラボが町の施策を理解し、町の方向性に則って事業を図ることにより、町の健康づくり・観光振興部門との連携を図ることができた。

【目標・ねらい】

- ① 健康・観光メニューの充実
- ② 参加者の増加
- ③ 町内事業者との連携
- ④ 官民共同のまちづくり

※自己評価 【C】

【理由】
予測より参加者が少なかったため

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

全体を通し、広報不足等、情報発信力に欠け、集客がうまくいかなかった。今後は、町内外、SNS等を活用し発信力を高める。また、地域内での認知度は上がっているため、より、地域の協力者を増やし地域一丸となったまちづくりを行えるようヘルスツーリズムの更なる研究・実施を行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある